

団体名		公益財団法人 武蔵野市国際交流協会						
事業部	① 指標名	来館者数 (HPのアクセス件数を含む)			目標値	来館者数 (HPアクセス件数を含む)を前年比1.5%増やす。(112,805件)	実績値	153.0% (約170,000件)
	過去の実績	平成26年度	平成27年度	平成28年度	達成率	153.0%	達成状況	未実施・未達成・ 達成
	(単位:件)	96,851	107,330	111,138				
	取組内容	※29年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ・平成29年度は、MIAの情報発信と認知度の向上のために4月にホームページをリニューアルし、同時にスマートフォンのサイトも開設した。トップページに「MIAについて」、「外国人のみなさまへ」、「イベント&講座情報」、「ボランティア募集・情報」、「MIA活動情報一覧」の5つからアクセスしやすいようにアイコンを使用して、英語と中国語でも発信している。						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ・ホームページだけではなく、MIAが発行する「むさしのFRIENDs」や「MIA Calendar」、「MIA Volunteer News」やむさしのFMの「News from MIA」などとともに情報提供を行っている。その結果、MIAの認知度も向上し、来館する者だけでなく電話での問い合わせも増加し、都外からの相談も多くなっている。						
二次評価	目標を大きく達成したことを評価する。情報発信と認知度の向上のために行ったホームページのリニューアルや各種広報媒体への情報提供の取り組みが来館者の増につながったと思われる。引き続き情報発信と認知度の向上の取り組みを継続していただきたい。							
財務部	② 指標名	団体会員数及びHPバナー広告数			目標値	団体会員の加入者及びHPバナー広告契約数を前年比8%増やす。(32件)	実績値	90.0% (27件)
	過去の実績	平成26年度	平成27年度	平成28年度	達成率	90.0%	達成状況	未実施・未 達成 ・達成
	(単位:件)	34	33	30				
	取組内容	※29年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ・協会運営の強化を図るため、自主財源の拡大を目指し、団体会員の獲得及び新規HPバナー広告の募集を行い自主財源確保に努力した。 ・理事会及び評議員会において趣旨説明し、協賛いただける企業、団体の紹介を要請をした。また、会員ボランティアからも企業等の情報提供を受けた。 ・MIAホームページや「むさしのFRIENDs」、むさしの国際交流まつりのプログラム等に「MIAの活動にご賛同いただいている団体・法人リスト」を掲載した。						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ・上記の取組を29年度も継続して行っているが、昨今の経済状況もあり既存の団体の維持で精一杯の状況にある。役員や会員等からの情報に基づく新規開拓にも努力しているところであるものの、広告によるメリットや団体会員になるメリットが企業や団体にとって直接の効果が見えにくいことから見送る団体も多い。今後も地道な努力を継続していきたい。						
二次評価	団体会員の獲得や広告募集の努力はしているが、会員加入数及び広告契約数は毎年度減少している。ホームページアクセス件数の大幅増を活用して、より多くの自主財源が確保できるよう努めていただきたい。							
内部管理部	③ 指標名	在住外国人支援事業への参加者数			目標値	日本語学習の支援、多言語による各種相談、留学生の社会参加の促進等の事業参加者を増やす。(H31年2,000人)	実績値	77.6% (1,660件)
	過去の実績	平成26年度	平成27年度	平成28年度	達成率	77.6%	達成状況	未実施・ 未達成 ・達成
	(単位:人)	1,880	1,909	2,138				
	取組内容	※29年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ・MIAによる在住外国人の支援については、大きな柱として「日本語学習の支援」、「多言語による各種相談」、「留学生の社会参加の促進」、「多言語による生活情報の提供」、「通訳者の派遣・翻訳」の5つがあるが、29年度は特に日本語交流員の研修と多言語による生活情報の提供に力を注いだ。ホームページのリニューアルや情報誌による広報を通じてMIAの認知度アップや業務内容の周知を図った。						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ・日本語交流員の募集は2年に1度であり、「日本語交流員養成講座」と「日本語交流員ステップアップ研修」を隔年で交互に行っていることから年度による参加者数の多寡が生じている。また、「留学生むさしのファミリープログラム」の顔合わせ会が留学生の減少により平成28年度から年3回から年2回になったことによる影響が出ている。ただ、通訳者派遣や各種相談事業は増加傾向にあるため、引き続き在住外国人の支援事業についてはトータルで推移を見守っていききたい。						
二次評価	留学生の減少による事業の縮小や隔年で事業を実施していることにより、全体の参加者数は大きく減ってはいるが、在住外国人の数は近年大幅に増えているため、引き続き様々な事業を実施し、参加者数の増加に努めること。							